

# 合志市人口ビジョンの概要

## 人口ビジョンとは？

地域の人口の動向を分析し、目指すべき将来の方向や人口の将来展望を示すもの

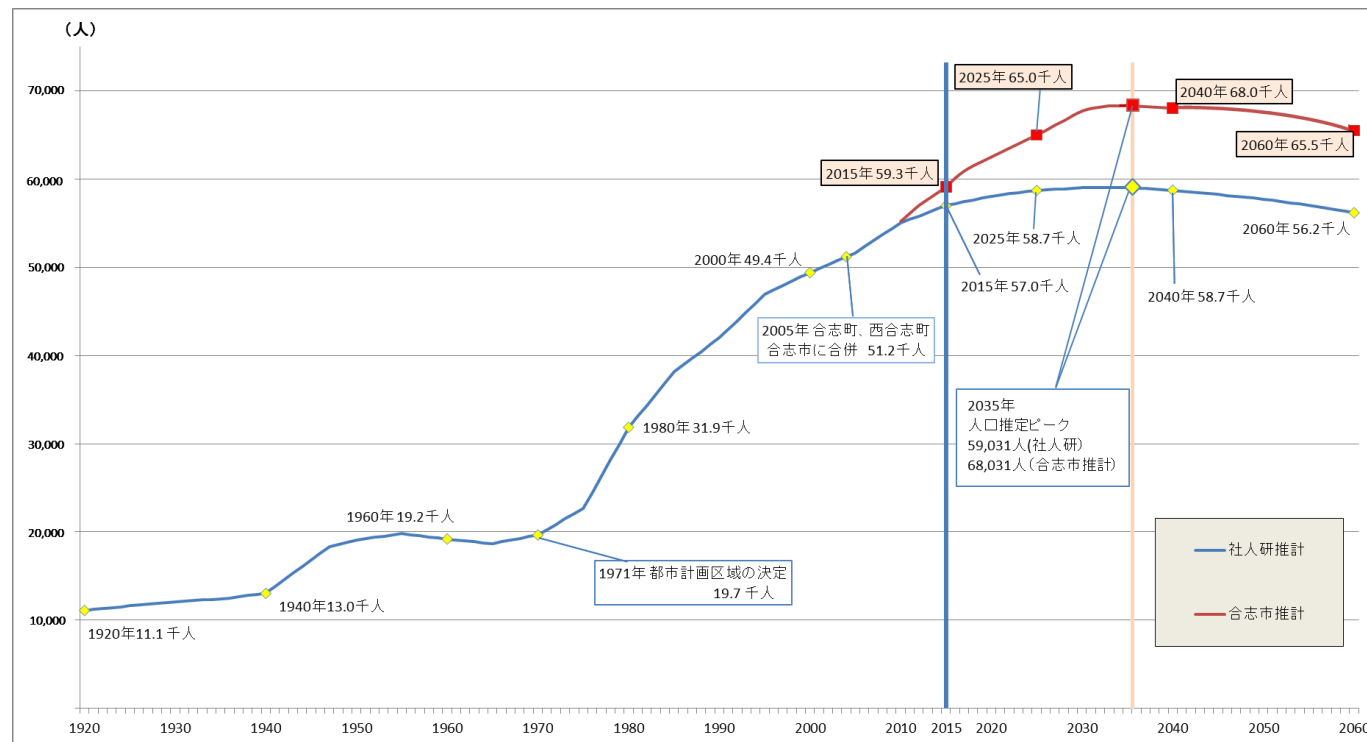
## 総合戦略とは？

人口ビジョンを踏まえて、今後5カ年の政策目標や施策をまとめたもの

## 1. 合志市の人口の推移及び構成

- 本市の人口は社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の推計を上回るペースで増加中。今後20年間ほどは増加傾向が続く。
- 2035年あたりにピークを迎え、その後は緩やかに減少に転ずる。
- 高齢化率は県平均より低いが今後着実に進行する。（2010年→2040年：約1.5倍増）
- 自然動態（出生・死亡）と社会動態（転入・転出）は、ともに増加を推移。特に社会増（転入超過）が大きく、人口増加の主な要因となっている。
- 転入・転出の状況を世代別にみると、若年層（15歳～19歳→20歳～24歳）だけが転入より転出が上回っている。→若者の流出

【合志市の人口推移】



## 2. 目指すべき将来の方向

- 1. 稼げる地域産業をつくる（しごと）**  
（新ヘルスケア産業、農業の安定収入、地域連携、新たな産業づくりなど）
- 2. 合志市への新しいひとの流れをつくる（ひと）**  
（若者の流出抑制、UIターン受入れ環境の整備、交流人口の拡大など）
- 3. 市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）**  
（女性の働くための環境づくり、起業支援、子育て支援など）
- 4. 暮らしに満足し、住み続けたい地域をつくる（まち）**  
（重点土地区域利用計画の推進、官民連携によるまちづくりなど）

### 国の長期ビジョン

- 「東京一極集中」の是正
- 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- 地域の特性に即した地域課題の解決

### 熊本県人口ビジョン

- 県民の結婚・出産・子育ての希望を実現する
- 熊本への人の流れを創るとともに、人材の流出を抑制する
- 熊本の発展を支える産業と、魅力ある雇用を創出する
- 県民が誇りを持ち安心して暮らし続ける地域を創る

## 3. 人口の将来展望

地方創生が実現された場合、本市の2060年の人口は68,000人となる。

- 合計特殊出生率は2030年までに2.1に上昇し、その後も2.1で推移する。
- 本市で生まれ育った若者の人口流出を2040年までに現在の半分程度縮小する。
- 生産年齢人口（15～64歳）の社会増減が転入超過を維持する。

【国、熊本県、合志市の人口の見通し】

|     | 現在の人口<br>(2015年7月時点) | 2060年の人口 |                |
|-----|----------------------|----------|----------------|
|     |                      | 社人研推計    | 人口ビジョンの目標      |
| 国   | 1億2,695万人            | 8,674万人  | 1億人 (+15%)     |
| 熊本県 | 178.6万人              | 117.6万人  | 144.4万人 (+23%) |
| 合志市 | 59,288人              | 56,180人  | 68,000人 (+21%) |